

納まりのきれいな家は、  
住んでいて気持ちがいい

長年、大手ゼネコンで、公共施設の建設に携わってこられたT様の。

「長年の経験から任せた方が良い物ができるとわかっていただけから、細かい注文はしませんでしたね。こちらからお願したのは、しっかりとした構造の、冬暖かく夏涼しい家にしてほしいということ。それから、天然素材を使うことと、『納まり』のきれいな家にしてほしいということくらいだったかな」と、家づくりを振り返る。

この『納まり』とは、接合部や接触部がきちんと合っていること。これができるしていると、見た目が美しい家になる。当たり前のことのようにだが、実はなかなか難しい。樹種によって収縮性が異なる木材をピタッと合わせるには、技術に加え知識や経験も必要になる。腕の良い大工でないとクリアできない、ハードルの高い注文だ。

「高橋建築舎さんは、さすがに天然の素材を扱い慣れているだけあって、細かい部分までとてもきれいに仕上げてくれた。おかげで、住んでいてとても気持ちがいいね」満足の笑みがこぼれる。



- 1)リビング。大窓の外には、自然の風景が広がっている。
- 2)壁は基本的に珪藻土。丸みのあるアーチが、和モダンな室内にしっかりと溶け込んでいる。
- 3)リビングの北側は黒い壁。サニタールームへのドアが隠されている。
- 4)リビング奥の和室は、琉球畳でモダンな雰囲気。物入れの扉の赤紫が、さし色になっている。
- 5)玄関ポーチからの眺め。奥まで見通せるが、視界が上手く遮られているため、リビングやダイニングキッチンの様子までは窺えない。

## 木の美しさ 際立つ家

長年住み慣れた神戸を離れ、八ヶ岳南麓に構えた終の棲家で、朝な夕なに雄大な自然を愛で、土と対峙しながら暮らす日々。人生は、豊穡の時を迎えている。



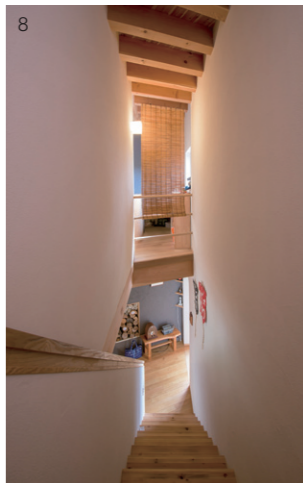
暮らしやすさを体現する、オシヤレでユニークな家形

大小3つの建屋からなるT様邸。四角いメガフォンを並べたようなユニークな家形は、釣鐘状の土地を活かすために生まれたという。

一番小さな建屋はゆつたりとしたガレージ。玄関ポーチもその内側にある。ドアを開けると、そこは、ブルグレーの壁が印象的な玄関ホール。正面のアーチをくぐると、リビングが拓ける。南側は一面の大窓。窓の外には、庭の草木から遠くの八ヶ岳まで、秀逸な風景が広がっている。対して北側は、天然木ならではの木目が浮き上がる黒い壁。実はこの壁には扉が隠されていて、開けると、明るく、気持ちの良いサニタールームが現れる。

一方、リビングの奥に控えるのが、一番大きな建屋。ここは2階建てになっていて、1階には、日々の暮らしの中心となる居心地の良いダイニングキッチンと和室。キッチンには大容量のパントリーがあり、食糧だけでなく、食器や調理器具もしまっておける。2階は、南北の窓から明るい光が差し込む広い空間に2つのベッドが悠然と並ぶプライベートスペース。南側の大きな窓には長机が

自然のなか、独特のフォルムで悠然と建つT様邸。洗練された佇まいの周囲には、豊かな暮らしが広がっている。



心穏やかに暮らしを楽しむ

いつの頃からか、リタイア後は自然豊富な土地で、畑をやりながら暮らしたいと考えるようになっていったというT様。長年住み慣れた神戸を離れ、八ヶ岳南麓での暮らしが始まって、3年半の月日が過ぎた。今、前庭には手入れの行き届いた畑が広がり、丹精込めて育てた野菜が、実りの季節を迎えている。肥料は鶏糞と自分で作ったたい肥。「やりたいことというよりも、やらねばならぬことをやってきた。最初はとにかく一生懸命だったけど、今年になって少し余裕ができたかな」。自慢の畑を見つめる目は、慈愛に満ちている。

一方、奥様は、神戸にいた頃より外出する機会が増えたそうで、「こちらでできたお友達と一緒に習い事をしたり、ランチに行ったり、楽しいのよ」と朗らかに話す様子は、まるで少女のよう。気取らず、自然体で、ここでの暮らしを楽しんでいるT様ご夫妻。お二人に流れる豊かな時間を、この家が優しく包み込んでいた。

**VOICE** 高橋建築舎 高橋 敦

天然素材ならではの魅力をひき出す知識と技術

この写真は、薪ストーブの煙突のために設けた2階の吹き抜け部分。丸みのある囲いを、細い木の板を張り合わせた装飾しているのですが、木が収縮しても狂いが生じないよう板と板の間や上下に微妙な隙間を作り、美しい仕上がりを保持しています。月日の経過とともに艶が増し、ますます良い味が出て来ることでしょう。

HOUSE DATA

●所在地	北杜市高根町
●家族構成	夫婦
●間取り	3LDK
●竣工	2012年3月

設えられていて、素晴らしい山々の景観を愛でながら、手紙を書いたり、読書を楽しんだりできるようなっている。

「この家は、廊下もなければ、扉も最小限。言ってみれば、ワンルーム住宅なんですよ」とT様。にもかかわらず、それぞれの空間が独立しているように感じられるのは、微妙に視線を遮るよう、綿密に計算された角度でそれぞれの開口部が設定されているためだろう。さらに、この家のもう一つの特徴が、障子。障子には、強い日差しを柔らかな光に変えてくれるだけでなく、断熱効果も高く、手入れも楽とのこと。一面倒だという若い人が多いようだけれど、カーテンやブラインドにはない良さがある」という。

- 6)スペースにきっちり収まり、気持ちがいいキッチン。右手に見えるのは、大容量のパントリーの入り口。
- 7)キッチン奥は透明なガラス窓に。
- 8)階段。
- 9)2階の窓沿いに作りつけられた長い机。障子を開けると、見事な山岳美が見渡せる。
- 10)天然木の美しさが際立つベッドルーム。実家の古い欄間を、衝立風に。

願いはひとつ、家族のしあわせ

ご家族の思いや暮らしのあり方と真正面から向き合い、「どれだけ幸せに住み続けていただけるか」を大事に考え、「本当に必要な家」をご提供することに努力しています。

お客様のライフスタイルにあわせて4つのタイプをご用意。すべて完全自由設計でプランニングします。

シンプルデザイン      ベビー無垢デザイン

無垢デザイン      ティンバーフレームデザイン

もっと詳しく知りたい方は [高橋建築舎](#) [検索](#)

**(有)高橋建築舎**  
山梨県北杜市大泉町西井出8240-6959  
TEL 0551-38-8151 / FAX 0551-38-3979